



気をつけよう！感染症（令和6年第1号）

令和6年7月3日発行
松本市保健所保健予防課

夏に流行する感染症に注意！！

夏に多く発生する感染症は「手足口病」「ヘルパンギーナ」「咽頭結膜熱」「RSウイルス感染症」などです。

6月頃から子どもを中心に患者数が増えはじめ、7～8月にピークとなります。

	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	RSウイルス感染症
原因	エンテロウイルス		アデノウイルス	RSウイルス
感染経路	接触感染・飛沫感染			
症状	- 口の中、手のひら、足の裏などにできる発疹や水ぶくれ - 発熱は約3分の1にみられる - 一般に軽症で、3～7日でおさまる	38℃以上の突然の発熱 - のどにできる水ぶくれ（水ぶくれはやがて破れ痛みを伴う） 2～4日で解熱し、7日程度でおさまる	38℃以上の発熱、のどの痛み - 結膜充血・目の痛みなどの目症状が片側から始まる 3～5日症状が続く	- 発熱、鼻水、咳 - 重症な場合、喘鳴や呼吸困難が現れることもある - 初めて感染する新生児や乳幼児では重症化することもある
ウイルス排出期間	呼吸器からは1～2週間 便からは数週～数か月		症状が出て数日が最も多い 便からは数か月続くこともある	通常3～8日

予防のポイント



○手洗い、うがいをしっかりしましょう

- 外から帰った後や食事の前、トイレの後などの手洗い、うがいを心がけましょう。
- 症状が落ち着いた後も、患者の便からはウイルスが排泄されます。トイレの後やオムツ交換の後の手洗いを徹底しましょう。

○タオルの共有は避けましょう

治療方法は？



○特効薬はありません

- 発熱やのどの痛みなどのつらい症状を和らげる対症療法が中心です。自宅で安静に過ごしましょう。刺激の強い食べ物や熱い物は避けるようにしましょう。
- 脱水症予防のため、こまめに水分や塩分をとりましょう。

詳しくはこちら

[わかりやすい感染症Q&A（厚生労働省）](#)

[RSウイルス感染症Q&A（厚生労働省）](#)

